

1. 技術体系の特徴

経営類型	家族労働力	品目・栽培型及び規模		経営・技術の特徴	
葉たばこ専業経営(第1黄色種)	人 3	葉たばこ(第1黄色種)		a 250	1. 品種は、第一黄色種(コーカー319)とする。 2. 播種及び前期育苗は委託とする。 3. 乾燥は、エコ乾燥機を用い、50%を委託(共同乾燥施設)とする。
		経営耕地面積	水田 畑	250a	
経営目標	1 農業総収入	13,283	千円	4 1日当たり農業所得	14,831 円
	2 農業経営費	7,206	千円	5 1人当たり年間労働時間	1,093 時間
	3 農業所得	6,076	千円		

2. 資本装備と減価償却費

	種類・規模	数量	型式・構造・能力	所有割合	取得価格	耐用年数	年間償却額
建物・施設	育苗ハウス	1	パイプハウス	1	千円 310	8	千円 19
	乾燥上屋及び作業舎	1	鉄骨・150㎡	1	8,100	24	338
	納屋(貯蔵室)	1	鉄骨・30㎡	1	1,620	24	68
	計				10,030		424
農機具	乾燥室・エコ乾燥機(コンピューター含む)	3	乾燥式25㎡、乾燥機3台	0.4	3,117	7	223
	トラクター	1	30ps	1	2,650	7	189
	ディスクプラウ	1	トラクター25~40ps用	1	600	7	43
	成畦被覆機	1	20a/hr	1	504	7	36
	管理機	1	5ps	1	473	7	34
	土壤消毒機	1		1	450	7	32
	高架型作業機(AP-1)	1		1	497	7	36
	防除機	1		1	212	7	15
	残幹処理機	1	AP-1対応(けん引式)KB-10	0.3	323	7	23
	簡易リフター	1		0.5	117	7	8
	梱包機	1		1	133	7	10
	堆肥散布機	1		1	700	7	50
普通トラック	1	2t	1	2,300	5	230	
計				12,075		928	

3. 技術体系

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時間	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
(育苗) 仮植	仮植床準備	1下～2上	育苗ハウス	2	1	2	(3.3㎡当たり) 親床 子床 細末堆肥 110 ^{kg} 140 ^{kg} 原野土 36 54 クン炭 18 18 配合肥料 300g 450g 苗箱・ペーパーポット	播種後20日前後、4～5枚苗を仮植し、10枚頃まで育苗する。
	仮植	2中～2下	育苗ハウス	2	4	8		
育苗管理	灌水	2下～3上	育苗ハウス	1	2	2	内ビニール支柱	本葉9枚の頃、低温に合うと早期発蕾株になるので留意する。移植直前に十分灌水する。
(本畑) 本畑選定 耕耘整地	深耕・耕耘	10中～11上 1上～1中	トラクタ ロータリー	1	3	3	溶成燐肥 過リン酸石灰	年内に耕耘を2～3回実施し、土壌の風化を図る。
土壌消毒		11下～ 12下 ※部分消毒 1下～2中	トラクタ 土壌消毒機	2	2	4	クロルピクリンくん蒸剤	全面 30cm間隔 約20 ^{kg} (33 処理後は確実に鎮圧し、必 ポリエチレン等で被覆する。 ※部分の場合は、畦内30cm 間隔 約6 ^{kg} (10a)
堆肥散布		1下～2上		2	1	2	堆肥 1,200kg	完熟堆肥を使用する。 (特に、塩素に留意)
施肥	基肥施用	1下～2上	堆肥・肥料散布機	2	1.5	3	有機化成肥料 合成草木灰肥料	施肥方法は条施にする。 第1黄色種 安山岩系 玄武岩系 N 7.6 kg 10.0 kg P2O5 17.8 kg 24.6 kg K2O 20.6 kg 29.2 kg
畦立て		2中～2下	成畦被覆機	1	3	3	畦面マルチポリ 防風ネット	高さ30cm以上の大高畦とする。
定植		3中～3下	移植器	4	2	8		深さは、最大葉が畦上に1 ～2cm見える程度 平均気温、12～13℃頃
被覆		3中～3下	貼付器	2	1.5	3	貼付用マルチポリ	
被覆物除去		4中		2	1	2		貼付トンネル・移植後25日頃 除去 (改良トンネル・移植後25日頃 マルチリレー)
土寄せ	中耕・培土	4中～4下	管理機	1	5	5		

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時間	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
除 草	除草剤散布	4下	防除機	1	2	2		薬剤は、茎葉に付着しないように散布する。
病害虫防除		4下	防除機	2	1	2	アドマイヤー水和剤等	防除回数 2回以内
		6上	防除機	2	1	2		
わき芽除去		4下～5下	AP-1抑制剤用ノズル	3	5	15	CONTACT乳剤	接触剤は、CONTACT乳剤30～40倍液を1株10～15 ^{リットル} 散布する。 2回目は、花軸が伸び切った頃(1回目から7～10日目)に散布する。 3回目以降は、発生に応じて散布する。イエローリボン乳剤は心止後50倍。
		5下～7下	AP-1抑制剤用ノズル	1	1	1	イエローリボン乳剤(心止後)	
芯止め		5下	心止鎌	1	2	2		開花1輪の頃、第1花枝葉とも4枚程度切除する。
収 穫		5中～7下	AP-1トラック	3	10	30	収穫布	適熟葉収穫を心掛け計画的に着位別収穫を励行する。 収穫は、下位葉から順次2枚ずつ収穫し、上位葉(総かぎ)は8枚程度を1度に葉分ごと区分収穫する。
残幹処理		8上	トラクタ 残幹処理機	2	2	4		残幹は、収穫終了後なるべく早く抜き取り処理する。
反転・深耕		8中～9下	トラクタ ディスクプラウ	1	2	2		耕種的防除のために夏期深耕を実施する。
乾 燥		5中～8上	乾燥室・エコ 乾燥機 ラック 簡易リフター	3	8	24		葉編み時に、枯上り、病害葉未熟葉等を選別する。 葉編みは、吊り込み量を均一にする。
ピッキング 荷造り		5中～8上	葉たばこ梱包機 計量台秤	3	5	15		乾燥の取り下ろし時に色損葉は、抜き取り区別する。 取り下ろし荷造り時に必ず着葉位置と作柄の区分を明記する。
貯 蔵		5下～ 10上		2	1	2		貯蔵場所は、吸湿や移り香のない場所で、しかも温度変化の少ない場所に保管する。
出 荷		10中	トラック	2	1	2		葉分け下位の方から順(中葉、合葉、本葉、上葉)に出荷する。
合 計						148		

4. 品目の作付け体系(○播種、△定植、□収穫、■出荷)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
葉たばこ	○		△△		□	□	□		■	□	■	

5. 作業別・旬別労働時間(10a当たり時間)

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計	
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
育苗																										
仮植準備			1	1																						2
仮植				6	2																					8
育苗					1	1																				2
本畑	0.6	0.6																		0.6	0.6	0.6				3
耕耘整地																							1	1	1	4
土壤消毒			1	1																						2
堆肥散布			1.5	1.5																						3
施肥																										3
畦立て				1.5	1.5																					3
定植						4	4																			8
被覆					1.5	1.5																				3
被覆除去							2																			2
土寄せ							3	2																		5
除草							2																			2
除草							2																			4
病虫害防除							1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6											16
わき芽除去										2																2
芯止め										3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.9	3.9										30
収穫																										4
残幹処理																										4
反転耕耘																										2
乾燥																										24
ピッキング・荷造り																										2
貯蔵																										2
出荷																										2
計	0.6	0.6	3.5	7.5	4.5	1	5.5	5.5	0	5	7.6	1.6	9.8	12	12	9.7	9.7	9.9	10	8.9	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	148
月計	4.7		15.5			12			23		12.6			29.8						3.3				1.6		3

6. 総労働時間

総労働時間	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計															
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下																
総労働時間	15	15	88	88	188	113	25	138	138	0	125	190	40	245	290	293	243	243	248	255	223	13	13	13	13	3	65	15	15	0	25	25	25	25	25	25	25	3,700		
うち家族労働	15	15	88	88	178	113	25	118	138	0	125	190	40	202	240	243	193	193	198	205	223	13	13	13	13	3	65	15	15	0	25	25	25	25	25	25	25	3,277		
うち雇用労働																																								423